

凍結工法確認項目書

※大男確認欄

/

1、凍結工法使用注意点

- 凍結を行う管に溶接がされている場合、既存の溶接箇所から20cm以内での凍結、並びに凍結箇所から50cm以内での新規溶接は出来ません。新規溶接に関しましては現場状況により更に距離を離して頂く場合があります。
- 凍結工法は、配管内の流動が確実に静止状態である事が条件の工法です。
- ストラブ使用の配管の際は、抜け防止金具を必ず取り付けてください。(解凍時に配管内にエアがある為、ウォーターハンマーを起こし配管内に通常の4～5倍の圧力がかかる場合があります。)
- 硬質塩化ビニルライニング鋼管の場合、鋼管とビニールの間に剥離があり、空気層が生じている場合があります。その場合、冷熱が伝わらず不凍結になるケースがありますのでご了承ください。
- 凍結を行う管が末端・消火系統等の場合エアだまりがある恐れがあります。その場合、エア一部分は凍りませんので管内を満水にしていただく必要があります。
- 凍結後の配管施工は安全性と追加液の発生を抑える為、出来る限り凍結側からお願いします。
- 当日に管種及び口径が違う施工となった場合には金額を変更いたします。凍結が不可能な管種・溶接絡み等で施工中止となった場合には、半額請求か最低補償金額のご請求となります。
- 施工を行い、当社の原因による不凍結の場合以外は全額請求となります。
- 養生、足場(脚立含む)、灯光器等はご依頼業者様でご用意をお願い致します。
- ライニング鋼管で水圧が0.8MPa以上・鋼管で1.4MPa以上の場合は、お手数ですが必ずご相談ください。

・凍結確認・水抜き等がない場合、有料となりますが安全性を考慮しサドル分水栓の使用をお勧めします(50A～)

2、施工内容

※朝礼等がある場合を考慮願います。

施工日	年 月 日 ()	集合時間	AM PM :
現場住所	都道府県 市区町村		
現場名			

※ 建物・ビル等の周辺略図、待ち合わせ場所等が御座いましたらお手数ですが別紙にてご送信願います

NO	管種	口径	箇所数	系統	水温	圧力	凍結完了後の保持時間目安
1					℃	MPa	分
2					℃	MPa	分
3					℃	MPa	分
4					℃	MPa	分
5					℃	MPa	分

3、会社情報

依頼会社名 (元請)	TEL	
	FAX	
依頼会社住所	都道府県 市区町村	
ご担当者名	(又は当日連絡が取れる方)	様 携帯

請求先会社名	TEL	
	FAX	
請求書 送付先住所	<input type="checkbox"/> 会社住所 <input type="checkbox"/> 現場住所 <input type="checkbox"/> その他 (左記選択の住所を下記にご記入ください)	
	都道府県 市区町村	
ご担当者名		様 携帯

※施工日2営業日前までにご返送確認が取れていない場合は催促のご連絡をさせていただきます。
(書類のご返送を以て工事内容確認と致します)

